



病院には どんな仕事があるのかな？

病院は、病める人を社会復帰させることを目的とし、医師をはじめとする多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。病院の中には、さまざまな業務があります。

医局・看護部・薬剤部・検査科・栄養管理室・放射線科・リハビリテーション科・臨床工学科・事務部・地域連携室などで働いている専門職種がチーム組んで、それぞれの専門分野での経験や知識、技術を集約して、患者さんに最も適した最新の治療にあたっています。

また、適切なアドバイスや必要な情報提供を行って早期社会復帰への手助けをしています。

FILE: 12 医療事務 Medical office work

働いている方に
INTERVIEW

医療事務の仕事

～ 企画課業務班算定・病歴係長

後口さんに聞いてみた～

医療事務の仕事とは？

医療事務とは病院で働く事務職員の中でも患者さんの診療費に携わる部門の職員が行っている業務の事で、その仕事領域は大きく分けて2つあります。それは『受付・会計業務』と『レセプト業務』です。

皆様がもっともイメージしやすいのは『受付・会計業務』ではないでしょうか？受付業務は、病院の窓口において患者さんのカルテや診察券を作成したり保険証の確認を行ったりしています。会計業務は、診察が終了した患者さんの診療費を計算しお金を支払っていただいています。

壁の向こうでは何が行われているの？

しかし『レセプト業務』を行っている事務職員は、あまりなじみがないのではないのでしょうか？

通常、窓口奥の壁の向こう側で日々パソコンに向かって仕事をしておりますが、医療事務の中でもっとも専門的な能力を発揮している部門でもあります。

病院では、患者さんは窓口で保険証を提出して保険診療を受けていただきますが、このとき窓口で診療費全額をお支払いいただく訳ではなく、一部を患者さんご本人が支払い、残りは保険証を交付している国民健康保険組合などが支払う仕組みとなっています。

そのためレセプト業務を行う事務職員は、患者さんの診療内容を1ヶ月毎にレセプトという書類にまとめて請求する業務を行っています。レセプトを作成するためには、医師がカルテに記載した病名や診療内容と薬の種類や検査の実施などに整合性がとれているかどうかをチェック出来

算定・病歴係長
後口 征司



るだけの医療知識が必要であり、またレセプトの記載内容に間違いがあると診療費の支払いを受けられなくなってしまうため、作業の正確性も求められます。

もちろん、『受付・会計業務』を行っている事務職員も診療受付時間外ではこの『レセプト業務』に携わっており、全員がスペシャリストです。

病院が得る収入の大部分はこのレセプトによる支払いに占められており、病院経営を支えるのが医療事務の重要な役割と自負して業務に励んでいます。

今後の目標

『受付・会計業務』を行う事務職員は、皆様が病院に来て一番最初と一番最後に接する職員です。“病院の顔”として、皆様に安心感や信頼感をもっていただけるよう、常に笑顔と心配りを忘れず頑張っています。

また、『レセプト業務』を行う事務職員も、日々専門能力に磨きを掛けながら病院の経営を支え、地域医療に貢献してまいります。

